

④ 日本国特許庁(JP)

⑤ 実用新案出願公開

⑥ 公開実用新案公報(U)

昭61-195657

⑦ Int. Cl.

識別記号

序内整理番号

⑧ 公開 昭和61年(1986)12月5日

H 04 M 1/21
3/42

Z-7608-5K
8125-5K

審査請求 未請求 (全 頁)

⑨ 考案の名称 電話器発信装置

⑩ 実 願 昭60-73981

⑪ 出 願 昭60(1985)5月27日

⑫ 考 案 者 牛 田 唯 一 横浜市港南区上大岡西2丁目9番10号 東洋リビング株式
会社内

⑬ 考 案 者 伊 藤 達 雄 横浜市金沢区谷津町230番地

⑭ 出 願 人 東洋リビング株式会社 横浜市港南区上大岡西2丁目9番10号

明 細 書

1. 考案の名称 電話器発信装置

2. 実用新案登録請求の範囲

電話ダイヤルまたはプッシュ（短縮含む）発信通話時の電話交換作業中の時間（相手が応答するまでの時間）帯を特定用語または音楽・コマーシャル等を発信者側に送信する回路構成を付加した電話送・受信器の構造

3. 考案の詳細な説明

本考案は電話発信ダイヤル（またはプッシュ作動、以下同じ）操作後、交換作業中の非話中時間を有効に活用する目的のために考案したものである。

構造要旨を基本構成回路図で説明すると発信機電話器 1 から回路 5 を通り、電話交換機 2・3 にて連結し、回路 6 を通り、相手先電話器 4 に達する。ここにおいて、本考案は交換機 2・3 が作動し始める（すなわち、最初のダイヤル 1 桁）と同時にあらかじめ設定した用

語または音声等を発信者側電話器 1 に発信する。発信時間はダイヤルによる交換作業中の数秒間を利用するものである。相手側の受話器 4 が開通状態と同時に、この発信は停止する如くしたものである。この作用を回路図では発信装置 7 として表示したものである。

この数秒間の発信音は種々の用途があり、例えば PR、コマーシャル、音楽等目的により利用する。

また、受話器（電話器）にあらかじめ音声回路を設定しておき、受話器を持ちダイヤル操作するまでの時間（または操作中）の数秒間を音楽等に利用する。

本構成による効果として 3 ～ 5 秒の空き時間を音楽・広告宣伝等に利用することにより、短時間であるが利用が広範囲であり繰り返し作用のため効果が大きい。

4. 図面の簡単な説明

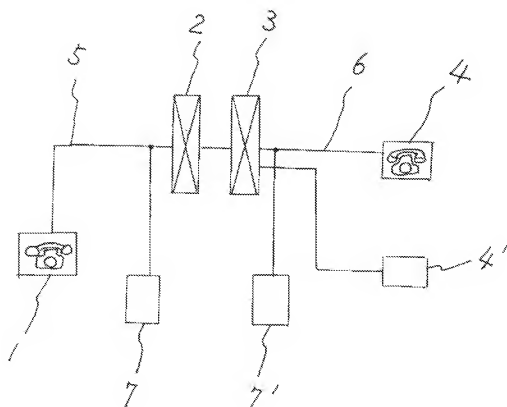
第 1 図は本考案電話器発信装置の基本回路図を示す。

- | | | | | | |
|----|----|-----|----|----|---------|
| 1. | 4. | 電話器 | 5. | 6. | 回路線 |
| 2. | 3. | 交換機 | 7. | 7' | 特定用語発信器 |

出願人 東洋リビング株式会社

594

第1図



出願人 東洋リビング株式会社
牛田 唯一



595

実開61-195657